

第2回都市総合開発審議会

(質問に関するご回答)



ご回答まとめ

質問内容	分析方法	回答	詳細資料番号
木更津市に「愛着や誇りを感じている」方が感じる木更津市の魅力は何か。	問2と問1のクロス集計※結果の分析	● 木更津市に「愛着や誇りを感じている」方が感じる魅力上位5位は、「東京湾アクアラインや圏央道などの広域道路ネットワーク(86.2%)」、「東京、神奈川方面への高速バス(82.6%)」、「木更津港まつり（やっさいもっさい、花火大会）(65.1%)」、「海や山などの自然環境(51.3%)」、「潮干狩り(47.3%)」となっている。	1.- ① (p.2)
木更津市に「ずっと住みたい」理由は何なのか。	問2と問3のクロス集計結果の分析	● 木更津市に「ずっと住みたい」方が感じる魅力上位5位は、「東京湾アクアラインや圏央道などの広域道路ネットワーク(81.5%)」、「東京、神奈川方面への高速バス(79.5%)」、「木更津港まつり（やっさいもっさい、花火大会）(63.9%)」、「海や山などの自然環境(45.7%)」、「潮干狩り(45.5%)」となっている。	1.- ② (p.3)
「居住年数の少ない」方が感じる木更津市の魅力は何か。	問2と問18のクロス集計結果の分析	● 「居住年数3年未満」の方が感じる魅力上位5位は、「東京、神奈川方面への高速バス(72.6%)」、「東京湾アクアラインや圏央道などの広域道路ネットワーク(62.9%)」、「木更津港まつり（やっさいもっさい、花火大会）(35.5%)」、「海や山などの自然環境(32.3%)」、「住宅の求めやすさ(24.2%)」となっている。	1.- ③ (p.4)
「オーガニックなまちづくり」を「理解している」方たちの属性は何なのか。	問5と問14、問5と問17、問5と問18のクロス集計結果の分析	● そもそも「オーガニックなまちづくり」を「理解している方」の数が927人中60人程度と極端に少なく、属性の傾向は把握し難い状況にある。 ● 年齢・居住地区・居住期間ごとのクロス分析をおこなったが、特に有意な傾向は見受けられなかった。	2.- ①(p.5) 2.- ②(p.6) 2.- ③(p.7)
木更津市における「愛着や誇りを持つ市民の割合」と、「市民活動参加状況」を他市と比較するとどうなのか。	他市の市民アンケートより問1、問6の類似設問に対する回答結果を抜粋、比較	● 「愛着・誇りを持つ市民の割合」は、19市のうち6番目に高い状況となっている。 ● 「市民活動に参加している市民の割合」は、20市のうち12番目に高い状況となっている。	3.- ①(p.8) 3.- ②(p.9)

クロス集計分析結果 1.- ① 木更津市の魅力について【愛着や誇りの有無による動向】

- 問1とのクロス分析によると、愛着や誇りの有無にかかわらず、「東京湾アクアラインや圏央道などの広域道路ネットワーク」や「東京、神奈川方面への高速バス」を魅力と感じる市民の割合は、顕著に高くなっている。
- 「木更津港まつり（やっさいもっさい、花火大会）」については、愛着や誇りを感じていない市民が魅力を感じにくい傾向にあるとうかがわれる。

問2. あなたを感じる木更津市の魅力は、何ですか。(MA) × 問1. あなたは、木更津市に愛着や誇りを感じていますか。(SA)

表側項目ごと上位5位の魅力

上段:人 下段:%	合計	東京湾アクアラインや圏央道などの広域道路ネットワーク	東京、神奈川方面への高速バス	住宅の求めやすさ(土地の広さ、価格等)	大型商業施設や道の駅などの集客施設	総合病院、夜間急病診療所などの医療機関	子育て支援センター	まちづくり協議会	ナチュラルバルや海まつりなどの街なかイベント	地域の歴史や文化	海や山などの自然環境	人のあたたかさ	子どもを産み育てやすい環境
全体	931 100.0	711 76.4	726 78.0	228 24.5	218 23.4	203 21.8	33 3.5	18 1.9	56 6.0	133 14.3	351 37.7	151 16.2	73 7.8
愛着や誇りを感じている	298 100.0	257 86.2	246 82.6	74 24.8	92 30.9	86 28.9	16 5.4	12 4.0	35 11.7	81 27.2	153 51.3	83 27.9	41 13.8
少しは愛着や誇りを感じている	403 100.0	323 80.1	323 80.1	112 27.8	101 25.1	87 21.6	15 3.7	5 1.2	15 3.7	38 9.4	154 38.2	57 14.1	26 6.5
どちらとも言えない	134 100.0	85 63.4	94 70.1	26 19.4	20 14.9	17 12.7	1 0.7	1 0.7	4 3.0	8 6.0	32 23.9	8 6.0	5 3.7
あまり愛着や誇りを感じない	81 100.0	41 50.6	56 69.1	15 18.5	5 6.2	11 13.6	1 1.2	-	2 2.5	6 7.4	10 12.3	2 2.5	1 1.2
全く愛着や誇りを感じない	15 100.0	5 33.3	7 46.7	1 6.7	-	2 13.3	-	-	-	-	2 13.3	1 6.7	-

上段:人 下段:%	活発な市民活動	オーガニック(持続可能)なまちづくりへの取り組み	市民活動支援センター「きさらづみらいラボ」	産業・創業支援センター「らぶ-Biz」	高校や大学などの高等教育機関	アクアラインマラソンや木更津トライアスロンなどのスポーツイベント	木更津港まつり(やっさいもっさい、花火大会)	潮干狩り	特産品(海苔、ブルーベリー、梨など)	海外の友好都市との交流	知名度の高さ	映画、ドラマのロケ地	特にない	その他
全体	25 2.7	38 4.1	15 1.6	6 0.6	75 8.1	240 25.8	477 51.2	354 38.0	229 24.6	12 1.3	102 11.0	201 21.6	29 3.1	19 2.0
愛着や誇りを感じている	15 5.0	24 8.1	11 3.7	5 1.7	45 15.1	109 36.6	194 65.1	141 47.3	106 35.6	7 2.3	55 18.5	78 26.2	-	11 3.7
少しは愛着や誇りを感じている	7 1.7	12 3.0	2 0.5	1 0.2	25 6.2	102 25.3	211 52.4	155 38.5	98 24.3	3 0.7	38 9.4	90 22.3	2 0.5	5 1.2
どちらとも言えない	3 2.2	2 1.5	2 1.5	-	4 3.0	21 15.7	49 36.6	40 29.9	19 14.2	2 1.5	7 5.2	21 15.7	14 10.4	2 1.5
あまり愛着や誇りを感じない	-	-	-	-	-	7 8.6	20 24.7	16 19.8	6 7.4	-	2 2.5	11 13.6	8 9.9	1 1.2
全く愛着や誇りを感じない	-	-	-	-	1 6.7	1 6.7	3 20.0	2 13.3	-	-	-	1 6.7	5 33.3	-

クロス集計分析結果 1.- ② 木更津市の魅力について【定住意向の有無による動向】

- 問3とのクロス分析によると、定住意向の有無にかかわらず、「東京湾アクアラインや圏央道などの広域道路ネットワーク」や「東京、神奈川方面への高速バス」を魅力と感じる市民の割合は顕著に高くなっている。
- 「アクアラインマラソンや木更津トライアスロンなどのスポーツイベント」や「木更津港まつり（やっさいもっさい、花火大会）」を魅力と感じる市民の割合は、定住意向の有無によって反応を二分する結果となっている。

問2. あなたを感じる木更津市の魅力は、何ですか。(MA) × 問3. あなたは、これからも木更津市に住みたいと考えていますか。(SA)

表側項目ごと上位5位の魅力

上段:人 下段:%	合計	東京湾アクアラインや圏央道などの広域道路ネットワーク	東京、神奈川方面への高速バス	住宅の求めやすさ(土地の広さ、価格等)	大型商業施設や道の駅などの集客施設	総合病院、夜間急病診療所などの医療機関	子育て支援センター	まちづくり協議会	ナチュラルバルや海まつりなどの街なかイベント	地域の歴史や文化	海や山などの自然環境	人のあたたかさ	子どもを産み育てやすい環境
全体	915 100.0	699 76.4	715 78.1	221 24.2	213 23.3	196 21.4	33 3.6	18 2.0	54 5.9	133 14.5	344 37.6	147 16.1	70 7.7
ずっと住みたい	341 100.0	278 81.5	271 79.5	86 25.2	97 28.4	102 29.9	18 5.3	14 4.1	29 8.5	76 22.3	156 45.7	92 27.0	39 11.4
できれば住みたい	350 100.0	280 80.0	288 82.3	93 26.6	82 23.4	69 19.7	13 3.7	4 1.1	20 5.7	47 13.4	137 39.1	43 12.3	26 7.4
できれば転出したい	66 100.0	37 56.1	45 68.2	13 19.7	8 12.1	9 13.6	- -	- -	1 1.5	1 1.5	14 21.2	2 3.0	2 3.0
転出するつもり	34 100.0	26 76.5	28 82.4	11 32.4	7 20.6	4 11.8	1 2.9	- -	2 5.9	4 11.8	10 29.4	3 8.8	1 2.9
わからない	124 100.0	78 62.9	83 66.9	18 14.5	19 15.3	12 9.7	1 0.8	- -	2 1.6	5 4.0	27 21.8	7 5.6	2 1.6

上段:人 下段:%	活発な市民活動	オーガニック(持続可能)なまちづくりへの取り組み	市民活動支援センター「きさらづみらいラボ」	産業・創業支援センター「らぶ-Biz」	高校や大学などの高等教育機関	アクアラインマラソンや木更津トライアスロンなどのスポーツイベント	木更津港まつり(やっさいもっさい、花火大会)	潮干狩り	特産品(海苔、ブルーベリー、梨など)	海外の友好都市との交流	知名度の高さ	映画、ドラマのロケ地	特にない	その他
全体	24 2.6	36 3.9	15 1.6	6 0.7	72 7.9	237 25.9	469 51.3	349 38.1	228 24.9	12 1.3	102 11.1	197 21.5	29 3.2	18 2.0
ずっと住みたい	16 4.7	18 5.3	11 3.2	3 0.9	40 11.7	117 34.3	218 63.9	155 45.5	122 35.8	8 2.3	45 13.2	79 23.2	3 0.9	13 3.8
できれば住みたい	7 2.0	12 3.4	2 0.6	3 0.9	26 7.4	97 27.7	184 52.6	136 38.9	78 22.3	3 0.9	39 11.1	77 22.0	6 1.7	3 0.9
できれば転出したい	- -	1 1.5	- -	- -	1 1.5	9 13.6	21 31.8	19 28.8	12 18.2	- -	2 3.0	7 10.6	7 10.6	2 3.0
転出するつもり	- -	2 5.9	- -	- -	- -	2 5.9	7 20.6	7 20.6	6 17.6	- -	3 8.8	6 17.6	2 5.9	- -
わからない	1 0.8	3 2.4	2 1.6	- -	5 4.0	12 9.7	39 31.5	32 25.8	10 8.1	1 0.8	13 10.5	28 22.6	11 8.9	- -

クロス集計分析結果 1.- ③ 木更津市の魅力について【居住期間別の動向】

- 問18とのクロス分析によると、居住期間にかかわらず、「東京湾アクアラインや圏央道などの広域道路ネットワーク」や「東京、神奈川方面への高速バス」、「木更津港まつり（やっさいもっさい、花火大会）」を魅力と感じる市民の割合は顕著に高くなっている。
- 相対的に割合は高くはないが、居住期間が長くなるにつれて、「人のあたたかさ」に魅力を感じる市民の割合は上昇していることが分かる。

問2. あなたを感じる木更津市の魅力は、何ですか。× 問18. あなたが木更津市に住んでいる期間は、次のどれに該当しますか。

：表側項目ごと上位5位の魅力

上段：人 下段：%	合計	東京湾アクアラインや圏央道などの広域道路ネットワーク	東京、神奈川方面への高速バス	住宅の求めやすさ(土地の広さ、価格等)	大型商業施設や道の駅などの集客施設	総合病院、夜間急病診療所などの医療機関	子育て支援センター	まちづくり協議会	ナチュラルバルや海まつりなどの街なかイベント	地域の歴史や文化	海や山などの自然環境	人のあたたかさ	子どもを産み育てやすい環境
全体	914 100.0	699 76.5	714 78.1	224 24.5	209 22.9	196 21.4	32 3.5	16 1.8	54 5.9	133 14.6	344 37.6	145 15.9	73 8.0
3年未満	62 100.0	39 62.9	45 72.6	15 24.2	9 14.5	4 6.5	3 4.8	-	3 4.8	4 6.5	20 32.3	12 19.4	6 9.7
3～5年	50 100.0	36 72.0	35 70.0	14 28.0	5 10.0	12 24.0	1 2.0	-	2 4.0	5 10.0	16 32.0	3 6.0	1 2.0
6～10年	71 100.0	55 77.5	53 74.6	29 40.8	22 31.0	18 25.4	5 7.0	-	3 4.2	8 11.3	27 38.0	7 9.9	8 11.3
11～15年	74 100.0	58 78.4	57 77.0	29 39.2	15 20.3	8 10.8	3 4.1	1 1.4	5 6.8	7 9.5	33 44.6	10 13.5	6 8.1
16～20年	61 100.0	48 78.7	49 80.3	19 31.1	17 27.9	14 23.0	-	-	3 4.9	7 11.5	23 37.7	9 14.8	5 8.2
21年以上	596 100.0	463 77.7	475 79.7	118 19.8	141 23.7	140 23.5	20 3.4	15 2.5	38 6.4	102 17.1	225 37.8	104 17.4	47 7.9

上段：人 下段：%	活発な市民活動	オーガニック(持続可能)なまちづくりへの取り組み	市民活動支援センター「ぎざらづみらいラボ」	産業・創業支援センター「らづ Biz」	高校や大学などの高等教育機関	アクアラインマリンや木更津トリアスロンなどのスポーツイベント	木更津港まつり(やっさいもっさい、花火大会)	潮干狩り	特産品(海苔、ブルーベリー、梨など)	海外の友好都市との交流	知名度の高さ	映画、ドラマのロケ地	特にない	その他
全体	24 2.6	38 4.2	15 1.6	6 0.7	70 7.7	232 25.4	465 50.9	344 37.6	223 24.4	10 1.1	98 10.7	199 21.8	28 3.1	19 2.1
3年未満	-	2 3.2	-	-	1 1.6	6 9.7	22 35.5	11 17.7	8 12.9	1 1.6	4 6.5	8 12.9	4 6.5	-
3～5年	-	4 8.0	2 4.0	-	4 8.0	13 26.0	20 40.0	21 42.0	9 18.0	-	6 12.0	11 22.0	1 2.0	-
6～10年	1 1.4	2 2.8	2 2.8	-	6 8.5	18 25.4	34 47.9	22 31.0	15 21.1	2 2.8	4 5.6	10 14.1	1 1.4	1 1.4
11～15年	2 2.7	3 4.1	-	-	3 4.1	18 24.3	33 44.6	26 35.1	8 10.8	-	11 14.9	22 29.7	3 4.1	1 1.4
16～20年	1 1.6	2 3.3	-	-	4 6.6	16 26.2	35 57.4	26 42.6	20 32.8	-	9 14.8	18 29.5	1 1.6	-
21年以上	20 3.4	25 4.2	11 1.8	6 1.0	52 8.7	161 27.0	321 53.9	238 39.9	163 27.3	7 1.2	64 10.7	130 21.8	18 3.0	17 2.9

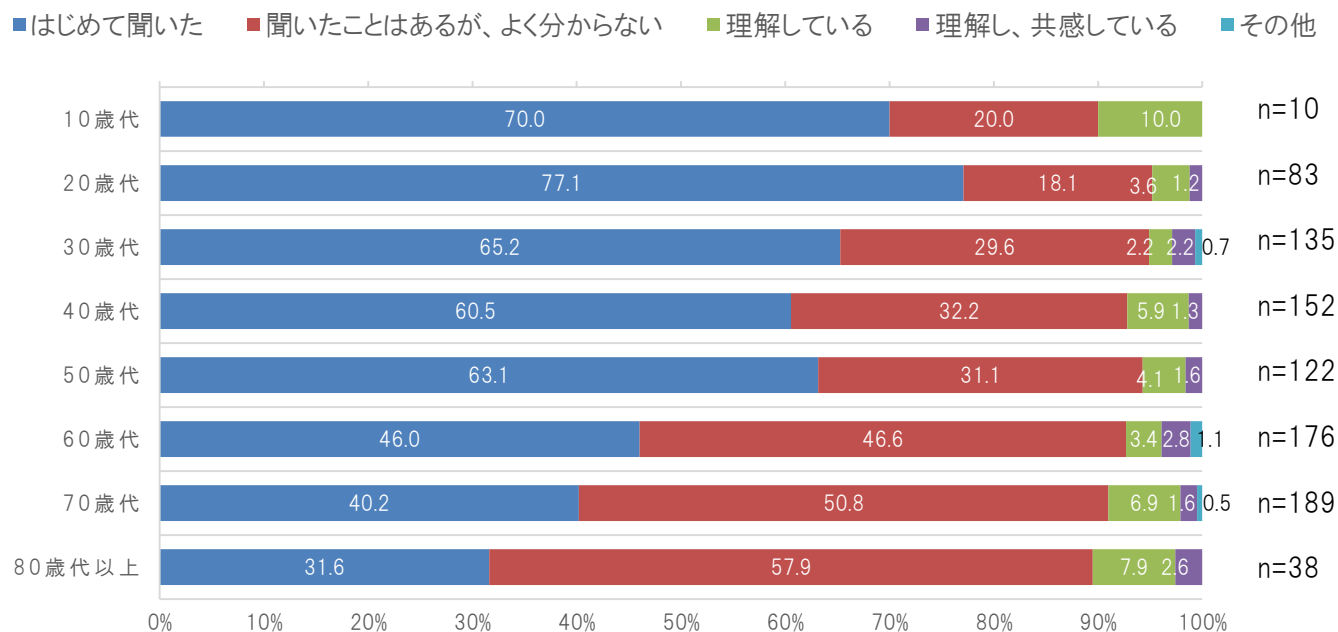
他市との比較 2.- ①「オーガニックなまちづくり」への理解度について【年齢別の動向】

- 年齢別の動向としては、20歳代を中心とした若年～中年世代に、「はじめて聞いた」市民の占める割合が高くなっている。
- 60歳代以上の高齢世代では、「聞いたことはあるがよくわからない」市民の占める割合が高くなっている。
- 本クロス集計によって、サンプル数が極端に少ない項目が発生しており、結果の解釈には注意が必要である。

問5. 現在、木更津市は、「オーガニックなまちづくり」を推進しています。

この取り組みについて、あなたはどのくらい理解していますか。

× 問14. あなたの年齢は、次のどれに該当しますか。



他市との比較 2.- ②「オーガニックなまちづくり」への理解度について【居住地区別の動向】

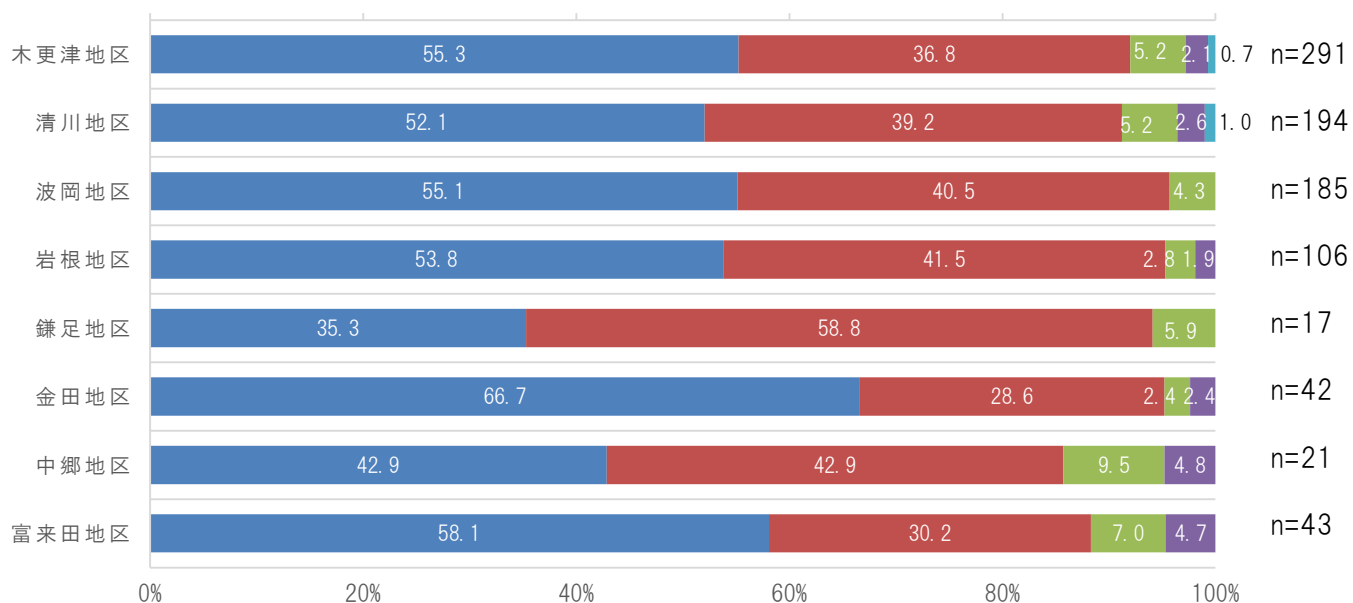
- 「はじめて聞いた」と回答した市民の占める割合は、金田地域で最も高くなっており、「聞いたことはあるがよくわからない」と回答した市民の占める割合は、鎌足地域で最も高くなっている。
- 本クロス集計によって、サンプル数が極端に少ない項目が発生しており、結果の解釈には注意が必要である。

問5. 現在、木更津市は、「オーガニックなまちづくり」を推進しています。

この取り組みについて、あなたはどのくらい理解していますか。

× 問17. あなたのお住まいの地区は、次のどれに該当しますか。

■ はじめて聞いた ■ 聞いたことはあるが、よく分からない ■ 理解している ■ 理解し、共感している ■ その他



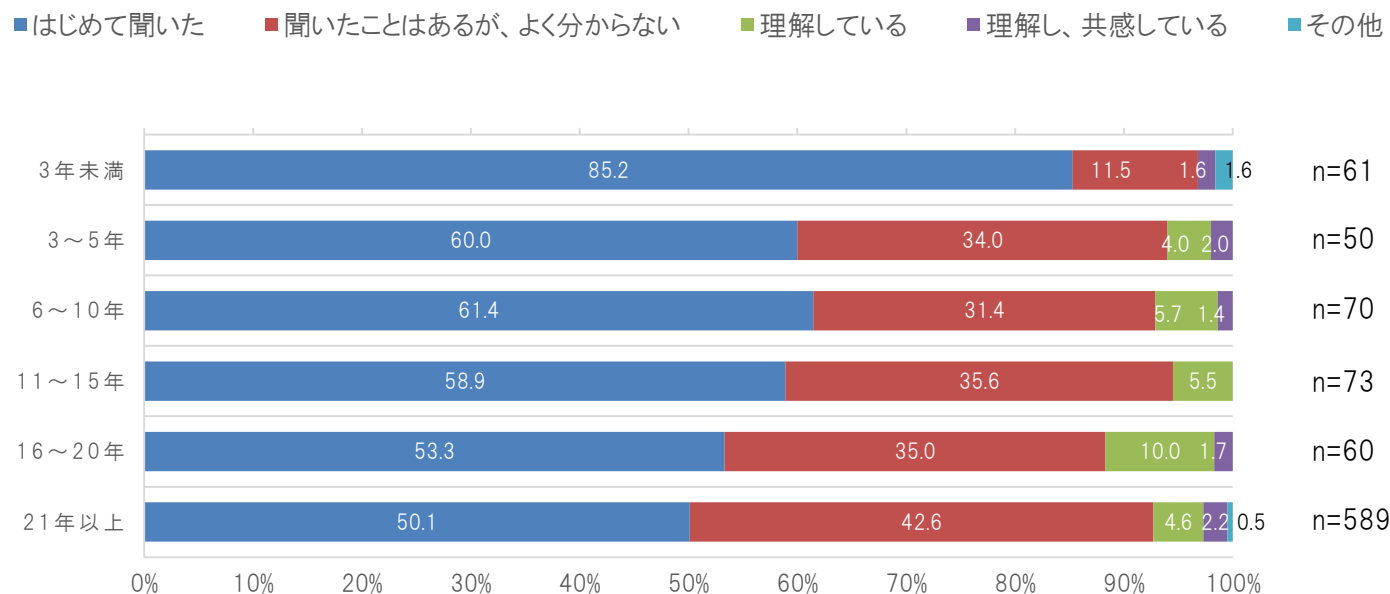
他市との比較 2.- ③「オーガニックなまちづくり」への理解度について【居住期間別の動向】

- 「はじめて聞いた」と回答した市民の占める割合は、居住期間が3年未満の回答者で最も高くなっており、「聞いたことはあるがよくわからない」と回答した市民の占める割合は、居住期間が21年以上の回答者で最も高くなっている。
- 本クロス集計によって、サンプル数が極端に少ない項目が発生しており、結果の解釈には注意が必要である。

問5. 現在、木更津市は、「オーガニックなまちづくり」を推進しています。

この取り組みについて、あなたはどのくらい理解していますか。

× 問18. あなたが木更津市に住んでいる期間は、次のどれに該当しますか。



他市との比較 3.- ① 愛着・誇りについて

- 千葉県・埼玉県・神奈川県の人口同規模（10～15万人）自治体で、主に総合計画策定のために実施された市民アンケート調査（公表されている最新のもの）の中で、愛着・誇りに関する設問の回答結果について整理・指標化した（成田市・入間市・三郷市・ふじみ野市・海老名市が該当）。
- それら5市に加え、千葉県内自治体を対象とした同様の作業を実施した（船橋市・東金市・館山市・袖ヶ浦市・四街道市・野田市・茂原市・大網白里市・佐倉市・香取市・印西市・八千代市・市原市が該当）。
- 木更津市の市民アンケート調査により明らかとなった「愛着・誇りを持つ市民の割合」は、19市のうち6番目に高い結果となっている。

	愛着・誇りを持つ市民の割合 (%)	(参考) サンプル数	(参考) 実施年
1 船橋市	86.9	1,344	平成29年
2 佐倉市	79	1,094	平成29年
3 館山市	76.1	1,324	平成27年
4 印西市	76	1,636	平成27年
5 八千代市	75.4	1,406	平成28年
6 木更津市	75.1	933	平成30年
7 四街道市	73.4	1,549	平成28年
8 海老名市	70.8	1,388	平成29年
9 市原市	69.1	2,978	平成27年
10 成田市	68.7	738	平成29年
11 香取市	66.8	1,324	平成27年
12 ふじみ野市	66.6	1,618	平成24年
13 三郷市	66.2	895	平成27年
14 東金市	63.5	613	平成29年
15 袖ヶ浦市	62.2	1,291	平成29年
16 野田市	57.1	1,451	平成24年
17 大網白里市	49.8	1,136	平成27年
18 茂原市	47.7	1,246	平成27年
19 入間市	41.4	1,201	平成26年

■ 指標化の方法について

- 市町村名に対し、「愛着」、「誇り」、「親しみ」、「愛する気持ち」といった単語で問うている設問を利用した。
- 「愛着や誇りを感じている」、「少しは愛着や誇りを感じている」、「どちらとも言えない」、「あまり愛着や誇りを感じない」、「全く愛着や誇りを感じない」等の選択肢中、愛着や誇りを「非常に／ある程度／少し／どちらかというと感じる」を足した値を「愛着・誇りを持つ市民の割合」に関する指標として採用した。

(注) サンプル数・実施年等統一されていないデータを用いた指標であるため、あくまで参考値として把握されたい。

他市との比較 3.- ② 市民活動参加状況について

- 千葉県・埼玉県・神奈川県の人口同規模（10～15万人）自治体で、主に総合計画策定のために実施された市民アンケート調査（公表されている最新のもの）の中で、ボランティアやNPO活動など市民活動の参加に関する設問の回答結果について整理・指標化した（成田市・鎌ヶ谷市・入間市・深谷市・三郷市、戸田市、鴻巣市、ふじみ野市、坂戸市、座間市、伊勢原市が該当）。
- それら11市に加え、千葉県内自治体を対象とした同様の作業を実施した（船橋市・東金市・袖ヶ浦市・君津市・野田市・茂原市・大網白里市・佐倉市が該当）。
- 木更津市の市民アンケート調査により明らかとなった「市民活動に参加している市民の割合」は、20市のうち12番目に高い結果となっている。

	市民活動に参加している市民の割合	(参考) サンプル数	(参考) 実施年
1 成田市	75.9		241 平成27年
2 鎌ヶ谷市	61.2	1,665	平成25年
3 君津市	59.2	717	平成23年
4 座間市	54.3	1,031	平成26年
5 戸田市	51.6	1,317	平成26年
6 ふじみ野市	48.8	1,618	平成24年
7 入間市	44.9	1,014	平成27年
8 深谷市	43.1	667	平成29年
9 伊勢原市	41.3	1,430	平成27年
10 大網白里市	39.2	1,136	平成27年
11 茂原市	33.1	1,250	平成27年
12 木更津市	27.4	907	平成30年
13 野田市	22	1,451	平成24年
14 三郷市	18.6	860	平成25年
15 坂戸市	15.9	1,205	平成26年
16 佐倉市	15.2	361	平成29年
17 東金市	15	613	平成29年
18 鴻巣市	9	171	平成30年
19 袖ヶ浦市	7.3	1,291	平成30年
20 船橋市	5.8	1,255	平成28年

■ 指標化の方法について

- 市民活動・地域活動・ボランティア活動・自治会活動の現在の参加状況について問うている設問を利用した。
- 「よく参加している」「時々参加している」「ほとんど参加していない」「まったく参加していない」等の選択肢中、「よく／積極的に／時々／どちらかといえば等）参加している」を足した値を「市民活動に参加している市民の割合」に関する指標として採用した。

(注) サンプル数・実施年等統一されていないデータを用いた指標であるため、あくまで参考値として把握されたい。